

函館高専 短期海外研修旅行

函館高専が主催する短期海外研修です。グローバル人材が求められている今、早くから海外での経験を積むことで、広い視野と日本を客観的にみる視点を養い、将来のキャリア選択の幅を広げることが狙いです。現地の一般家庭にホームステイするので、日本にはない文化、習慣、ものの考え方を吸収することができ、英語でコミュニケーションすることで英語力アップを図ります。帰国後は世界観が変わり、ものの見方・考え方に変化が起きるでしょう。本校教員がプランを立てる、中身の濃い安全・安心な研修となります。

- 期 間：平成26年1月5日（日）～1月12日（日）（予定）
- 研修地：マレーシア（ペナン島）
- 定 員：10名（低学年生優先） ※10名を超えた場合選抜になります。
- 引 率：本校教員
- 説明会：第1回：7月4日（木）16:20~17:00 於 語学演習室
- 最小催行人数：4名

【プログラムのポイント】



- ・一般家庭にホームステイし、現地の生活体験（2泊）※英語使用
- ・現地の学校に訪問し文化交流 ※英語使用
- ・世界遺産に登録されているジョージタウンの街を見学
- ・日本と深いかかわりのあるペナン島の歴史と文化を研修
- ・ペナン島の大自然を探索するエコツーリズム体験
- ・様々な民族・宗教・文化・歴史・食の体験
- ・最終日はシンガポール半日研修
- ・英語を積極的に使って語学力アップ！



【プログラム内容】



"東洋の真珠"と呼ばれるペナン島は、東洋と西洋文化が混在するエキゾチックなリゾート都市として知られています。世界遺産にも登録されている中心都市のジョージタウンとその近郊を舞台に、ボランティアのホストファミリーと共に、2日間を過ごします。それぞれのファミリーが色々なところに連れて行ってくれたり、様々なアクティビティを体験させてくれたりします。日本とは違う文化や生活様式を実体験できるプログラムです。

学校交流プログラムでは、地元の学校を訪れて授業に参加したり、先生や学生とお互いの文化を紹介したりして交流を深めます。日本のことを説明することにより、自分の国を客観的な視点で見るトレーニングと、英語でのプレゼン能力が高まります。

研修の後半は、ペナン島の色々な箇所を巡ることでアジアの歴史や文化を肌で感じ、ペナン島の自然を壊さずに観光産業を充実させているエコツーリズムについて学びます。また、ジョージタウンの街を半日自主研修の時間として自由に行動してもらいます。異国で「生きる力」を身につけましょう。

最終日はシンガポールに立ち寄り、半日市内研修を行います。マーライオン、チャイナタウンなどを巡り、先進的な観光都市を見学します（2012年度実績。今年度は調整中）。



【ホームステイ】

現地に着いたらホストファミリー(中国系マレーシア人)と対面し、そのあと直ぐに自分のホストファミリーと行動を共にします。原則的に、1家庭に2人の学生が入ります。ホームステイ中、一度引率教員が様子を見にホストファミリーを訪れます。その際、何か重大な困ったことがあれば相談してください。

ホストファミリーとはできるだけ積極的に話をするようにし、自分のこと、自分の家族のこと、学校のこと、自分の住んでいる町のこと、北海道のこと、日本のことを話し、相手に理解してもらうよう努力しましょう。また、ホストファミリーのことを理解できるように、気になったこと、不思議に思ったことなど色々なことを質問しましょう。自分が持ってきた写真を見せながら説明すると、話がはずみます。ファミリーのほとんどの方々は日本語を話せないので、英語で会話します。英語力アップのチャンスです！

【スケジュール】

別紙参照



【費用】

約 23 万 ※後日詳しい費用をお知らせします。

◎費用に含まれるもの

●函館からマレーシアまでの航空券代金、各国空港諸税、燃油サーチャージ、ホテル代(朝食付)、現地でのバスチャーター代、海外旅行傷害保険代

※ホームステイの宿泊と食事はホストファミリーのご好意で、代金は発生しません。しかし、心遣いとしてお土産をプレゼントする必要があります。

◎費用に含まれないもの

●パスポート取得料金、ホームステイ時とホテル滞在時の朝食以外の昼食および夕食代、こづかい等個人的費用、携帯電話レンタル料金（必要な学生のみ）

【注意事項】

心身の持病を持っている人は、必ず申し出てください。又、その内容によりましては、診断書を取ってもらう場合や参加を遠慮してもらうことがあります。研修催行の趣旨から了承ください。

※心身の持病を事前に申し出なかった場合には、研修中に発作等が起こっても対処が遅れるばかりでなく、学校は一切の責任を負いかねますので予め承ください。天候や交通機関・現地諸事情により日程の調整・変更が生じる場合があります。

海外研修なので、自分自身を高めるために食欲に何でも吸収してやろうという意欲をもつことが必要です。文化や言葉が全く違う人たちを受け入れ、どうやったらうまくやっていけるかを一生懸命考えることが大事です。単なる旅行気分で行くと、せっかくお金をかけた割には得られるものがなかったという残念な結果になってしまう可能性があります。





【海外渡航について】

◎必要なもの

1. パスポート (旅券)

自分で取得します。渡島支庁で申請すれば約 2 週間で受け取ることができます。取得するのにかかる費用は 11,000 円(5 年間有効)です。パスポートは日本、シンガポール、マレーシアの出入国に常に必要です。また、現地での身分証明書の機能を果たすので、常に携帯しておくことを推奨します。

2. 航空券

飛行機に搭乗する際に必要です。E-Ticket と呼ばれる航空券が一人一人に発行されます。E-Ticket 自体は引率教員で管理しますので、個別に管理する必要はありません。

3. 服装

カジュアルな服装で構いません。基本的には夏の格好です。現地の気候を良く調査し、自分の身体と健康をよく考えてふさわしい服装を準備しましょう。建物の中は冷房が効いているので、寒く感じる場合があります。上に羽織るものを用意しましょう。また、企業見学の場合も考えられるので、男子はワイシャツとスラックス、女子はブラウスとスカート(またはスラックス)の準備もしましょう。

文化交流で浴衣を着る場合があります。現在あるものを持参できるよう準備しておいてください。

4. 医薬品

日本のようにドラッグストアで簡単に薬を購入することができない恐れがあるので、鎮痛剤、胃腸薬、整腸剤、風邪薬、絆創膏、酔い止めなどの医薬品は持参しましょう。

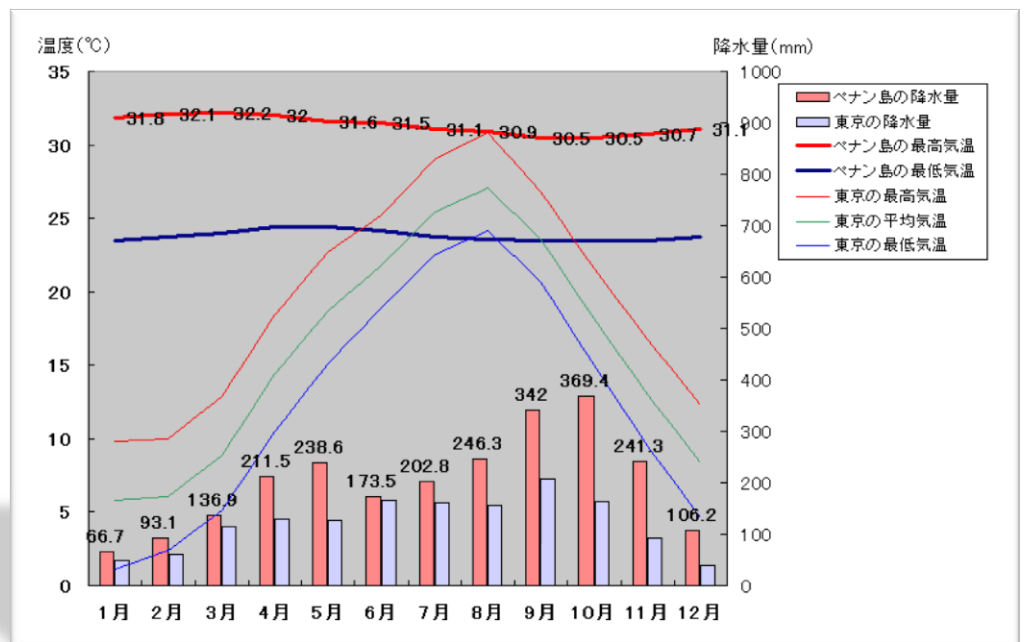
5. 電源プラグ変換器具、変圧器

現地では電源プラグの形状が日本と違い、電圧が 240V になっています。入力電力が 100~240V の対応アダプタであれば、プラグ変換器具のみで使えますが、100V 電源のみ対応の電源については、変圧器が必要になります。

6. 筆記用具

ペンとメモ帳は用意しましょう。飛行機内で ED カードを書くときにも使います。

7. その他



【空港の手続きと出入国】

出入国時は、引率教員の指示に従ってください。勝手な行動は周りに迷惑をかけるので慎みましょう。

【出発時の手続きの流れ】

1. 搭乗手続き

航空会社(JAL)のチェックインカウンターで、E-ticket とパスポートを提示し、搭乗券(Boarding Pass)を受領します。機内に預ける受託手荷物も一緒に預けます。受託手荷物は、それぞれの3辺(縦・横・高さ)の和が203cm以内、重量23kg以内のものを2個までとなっていますので、それに合わせてスーツケース等を準備してください。また、搭乗手続き終了後に預け荷物の引換証(Luggage Tag)が出ますので、絶対に無くさないようにしてください。なお、受託手荷物はシンガポールまで受領できないので、機内持ち込み荷物はあらかじめ分けておいて下さい。

2. 手荷物検査

機内へ持ち込む荷物(1個以内)や、身につけているものの検査があります。機内に持ち込む荷物は、幅55cm×高さ40cm×奥行き25cm以内、3辺の和が115cm以内となっているので、注意しましょう。また、液体物の持ち込みには制限があるので注意しましょう。

3. 出国手続き

羽田空港国際線ターミナルで出国手続きを行います。手荷物検査を受けて、出国審査場へ移動し、パスポートと搭乗券を係官に提示して、出国許可を受けます。

4. 機内

機内では、客室乗務員の指示に従ってください。

- ・離着陸時にはシートベルトを締め、電子機器の使用を中止する。
- ・シートのリクライニング時は後ろの人のことを考える。
- ・周囲の迷惑になるようなことをしない。(深夜帯運航便なのでビジネス客が多くいます)

5. 出入国カードの記入

マレーシア到着前に、機内で出入国カードを記入しておく必要があります。カードは機内で配布されます。

6. 入国手続き

シンガポール到着後、入国審査場へ移動します。出入国カードとパスポートを係官に提示し、聞かれたことに答えてください。次に税関検査を受けます。荷物の中身を聞かれることがたまにありますので、その際には質問に答えてください。あらかじめマレーシア国内への持ち込み禁止物品を確認しておいてください。

【出国手続きの流れ】

基本的には日本出国時と同様の流れですが、羽田空港での入国審査後、いったん機内持ち込み荷物を受け取り、税関検査を受けるところが違います。税関検査後、羽田空港国内線ターミナルに移動して、函館便へのチェックインおよび荷物預けを行います。

【お金】

両替については、空港や現地の銀行、両替所を利用します。また、現地の銀行から随時引き出すという方法もあります。利用したい人は、自分で調べましょう。

例．楽天銀行海外 ATM サービス

【電話】

自分の携帯電話で、国際ローミング設定をしている場合は使用できます。ただし、通話料が高額になることがあり、さらに電話の受信やメールの受信にも課金されるので、必要最小限の通話・メールにした方が無難です。さらに、パケット定額サービスは海外では適用外なので、日本国内の感覚で使用しているとかなりの高額になります。NTT ドコモなどキャリアによっては、SIM ロックフリー端末があり、この端末であればマレーシアで購入したプリペイド型 SIM カードを挿入して、マレーシア国内での利用ができる場合があります。

【遵守事項】

マレーシア、シンガポール国内では「日本人」「高専学生」という看板を背負って行動していることを忘れないでください。

- ・ホテルでは十分な睡眠時間をとって、健康管理を心掛けるようにしましょう。
- ・引率者の指示をしっかりと聞きましょう。不明な点があれば質問をして常に明確にしましょう。指示以外の行動は取らないでください。
- ・旅行中にトラブルにあった場合は、すぐに引率教員に連絡し、状況を報告しましょう。
- ・金銭などの貴重品の管理をしっかりとしましょう。お金の紛失は周りの人に迷惑をかけることとなります。